

# 海洋・大陸ダイナミクス教育研究分野

## ～電気と磁気で見る地球の素顔～

地球の表面の動きと内部構造を知るにはどうするか？

地表の動き、実際に測ればいいんじゃないの？ → GPSで測ってみよう

現在の動きに基づく運動です。

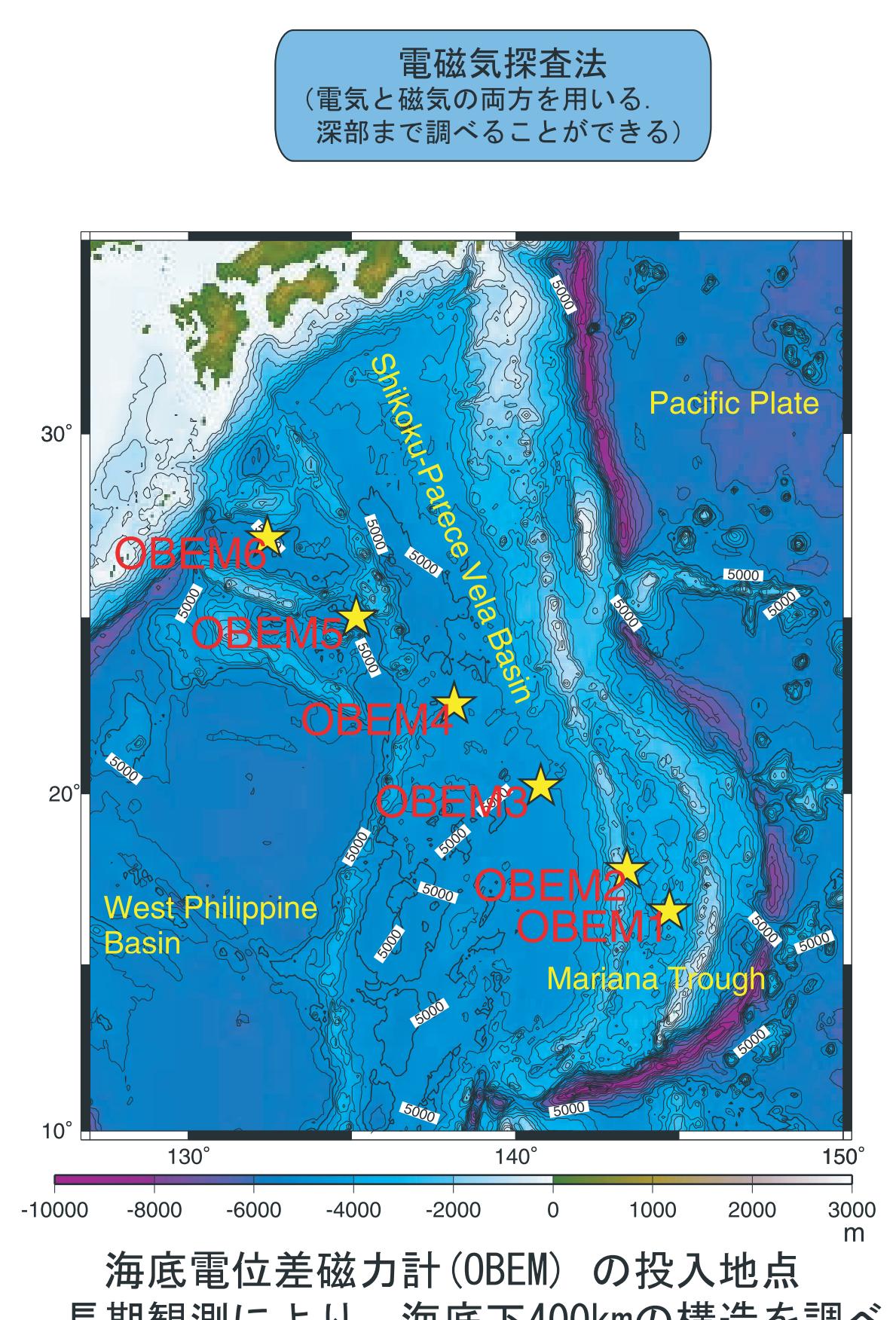
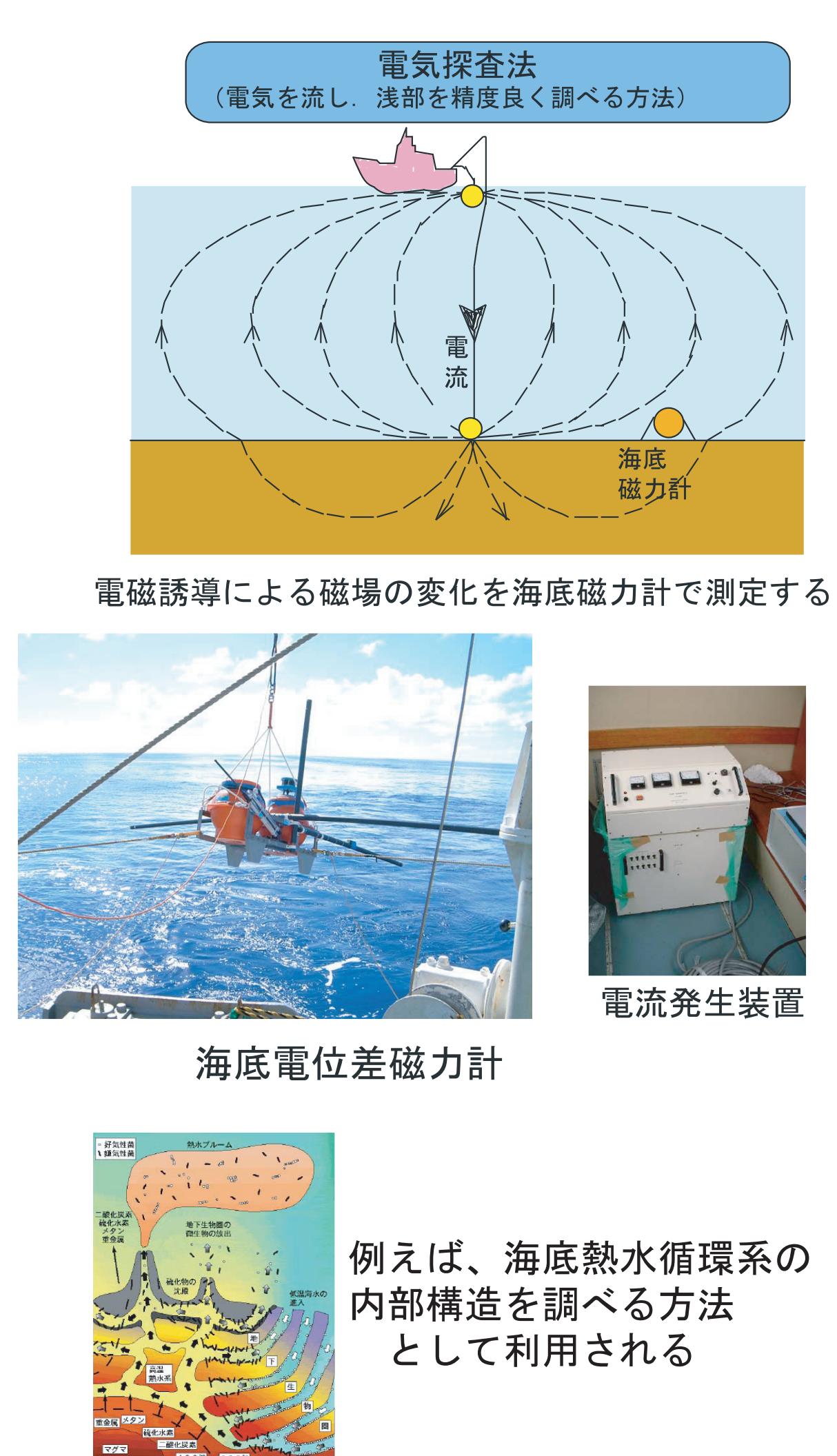
地球内部の構造、もう知っているよ！「地殻・マントル・核」だよ → じゃあ、どうやって調べたの？

地震波速度の違いに注目した構造です。

ほかの調べ方は  
『電気と磁気』を使って地球内部の構造を調べるないのかな？

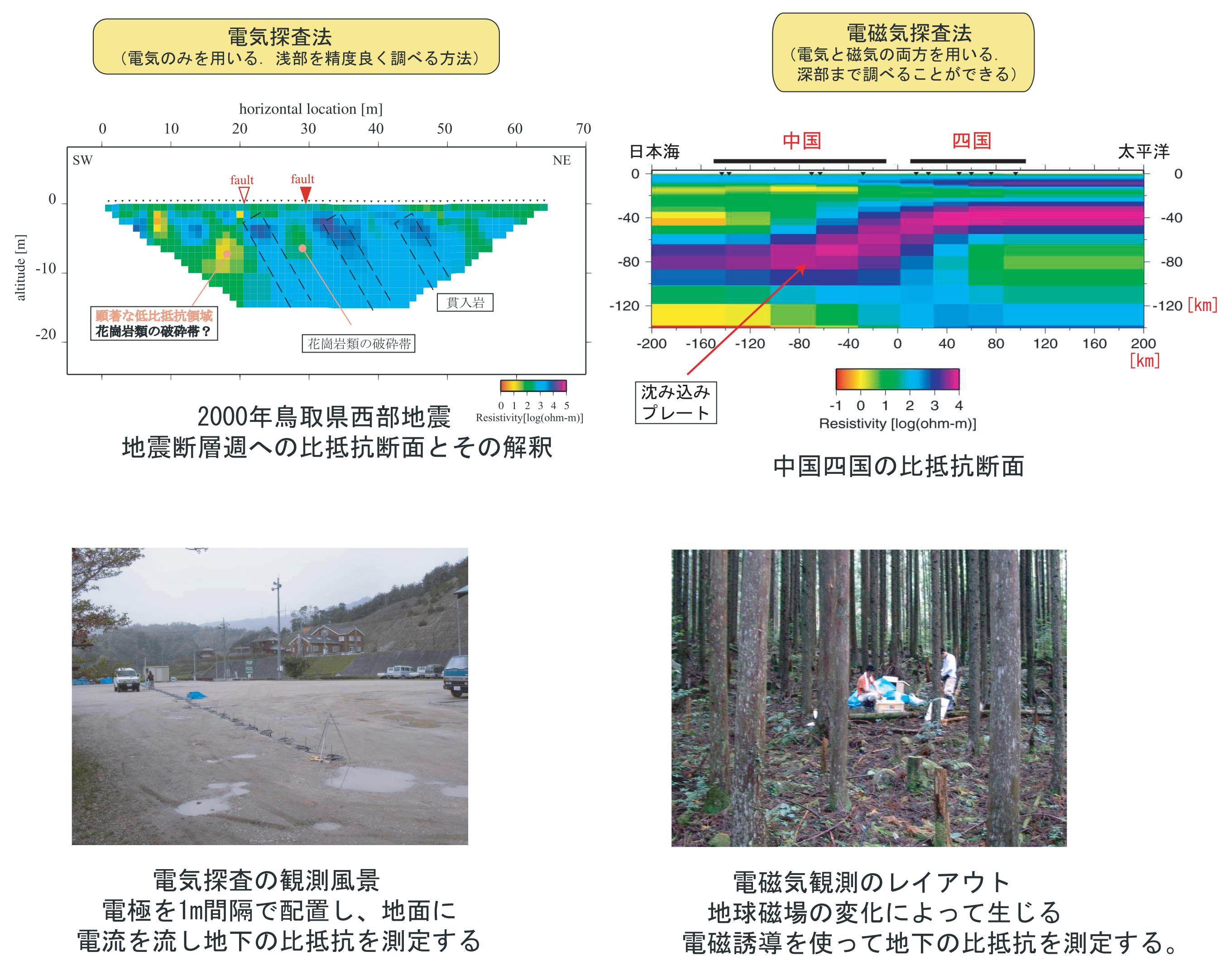
地震波以外でも、電気や磁気を使って  
地球内部をることができます。  
電気抵抗に注目した地下構造を調べています。

○海では



いろいろな物の電気抵抗 $\sigma$	
水道水	数 $10\sim100\Omega\text{m}$
海水	0.25 $\Omega\text{m}$ (4S/m)
若い堆積物	数 $\Omega\text{m}\sim$ 数 $10\Omega\text{m}$
古い堆積物	数 $10\sim1\text{k}\Omega\text{m}$
新鮮な花崗岩など	数 $k\Omega\text{m}\sim$ 数 $10k\Omega\text{m}$

○陸では

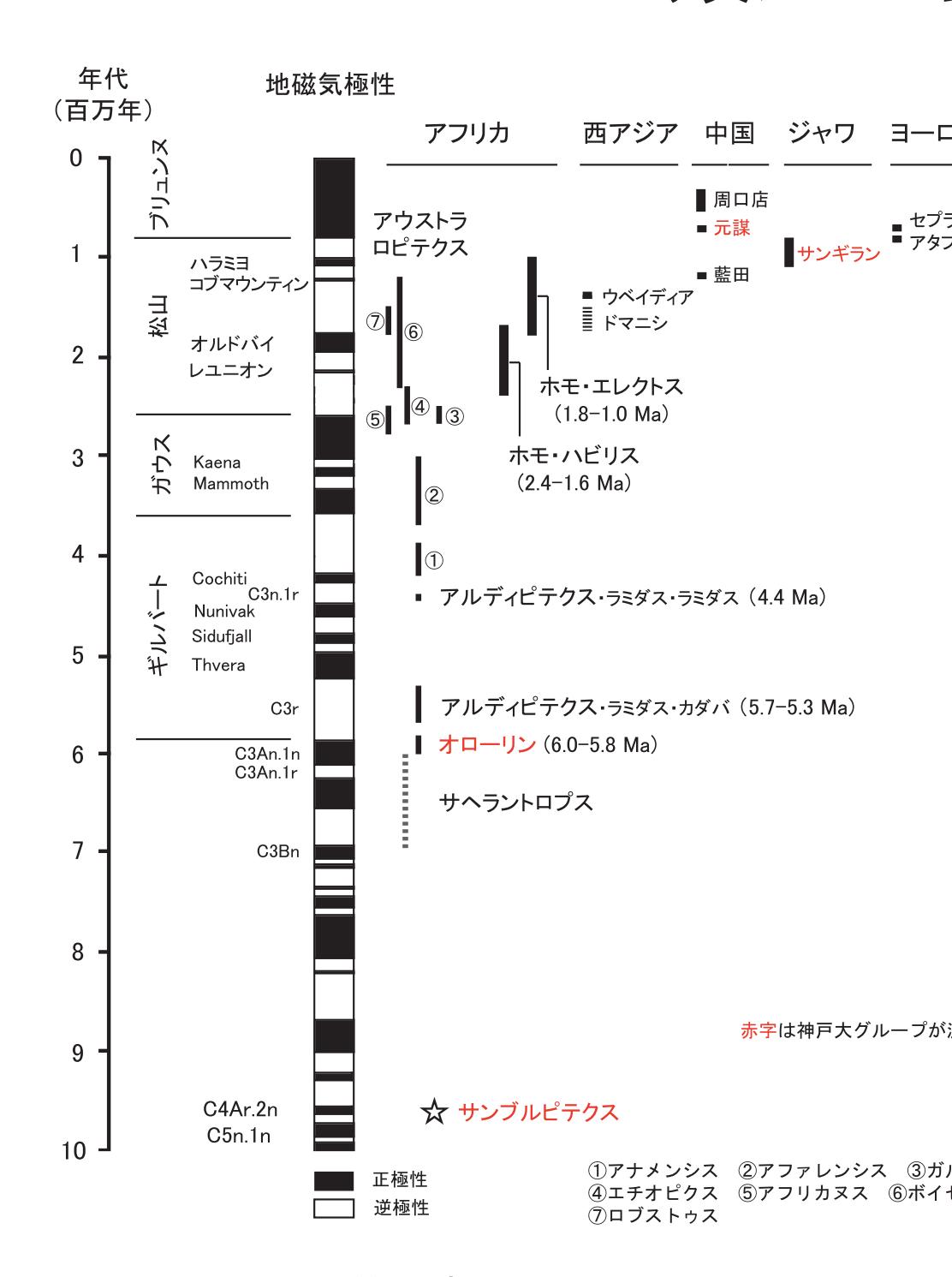
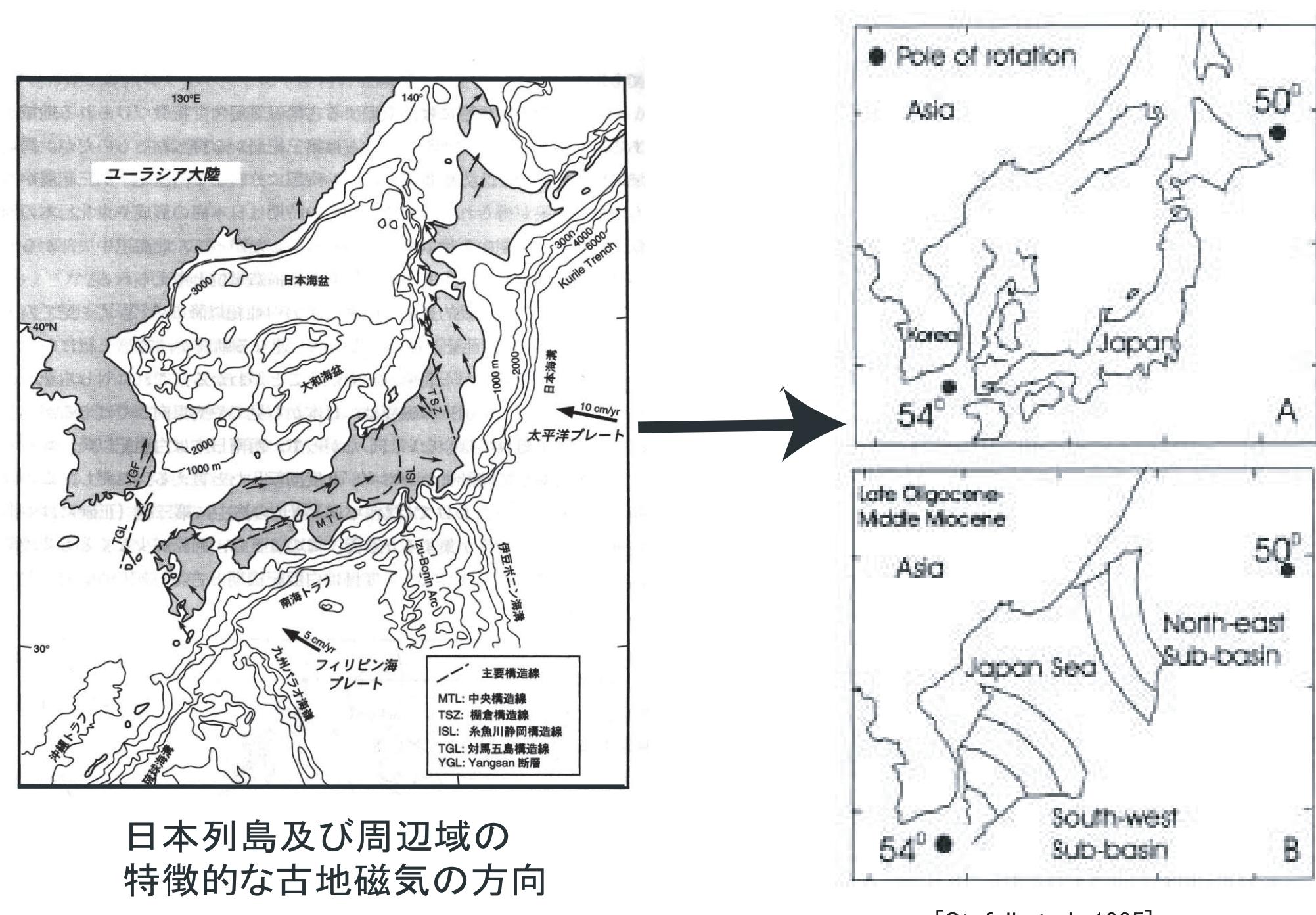


『地磁気の化石』を使って過去から現在の変動を調べる

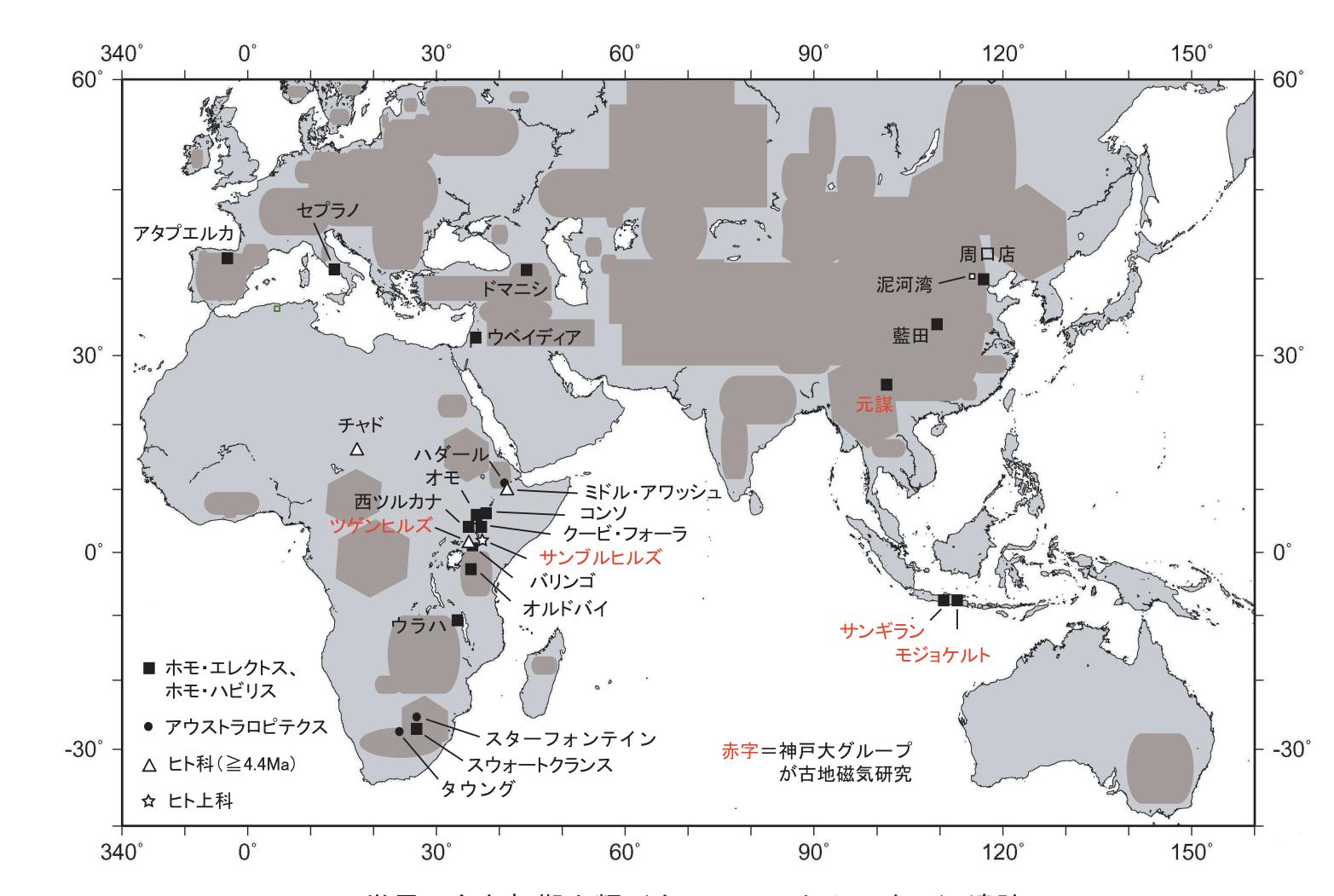
○地殻の移動・変形を調べる

岩石は形成される時に地磁気と平行な向きの弱い磁石になります  
「地磁気の化石」を測れば岩石ができた過去から現在までの地殻の動きが分かります

たとえば日本列島の動きは

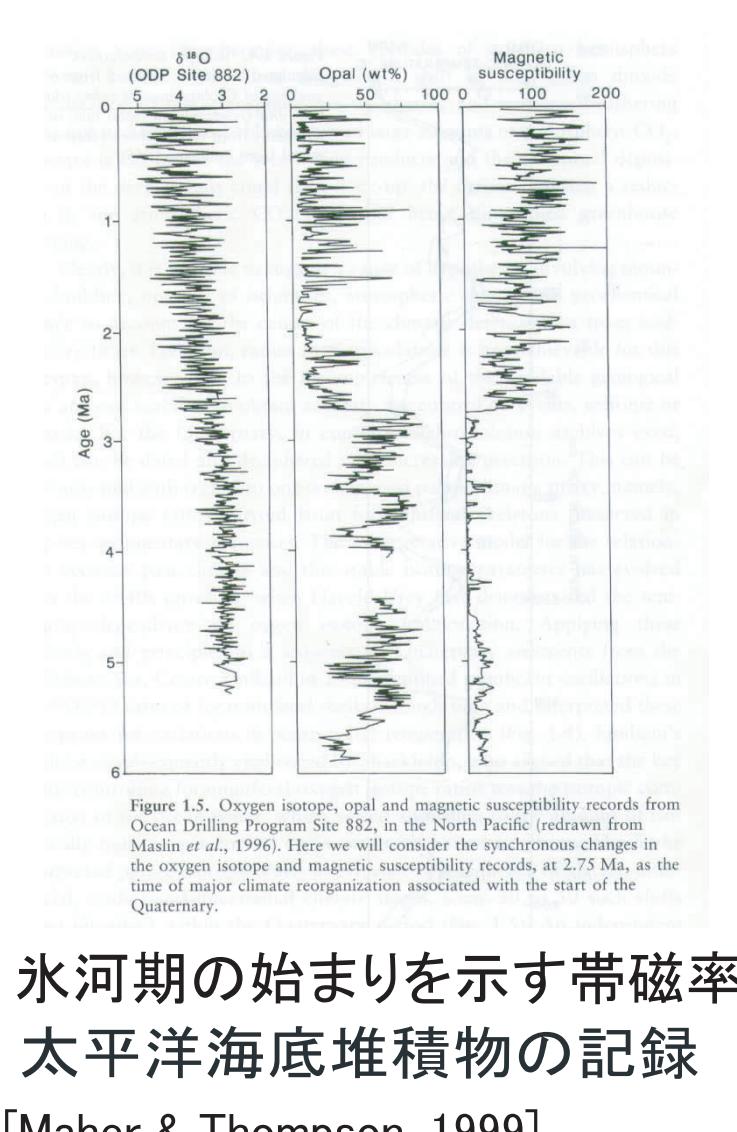


人類進化史に時間軸を入れる

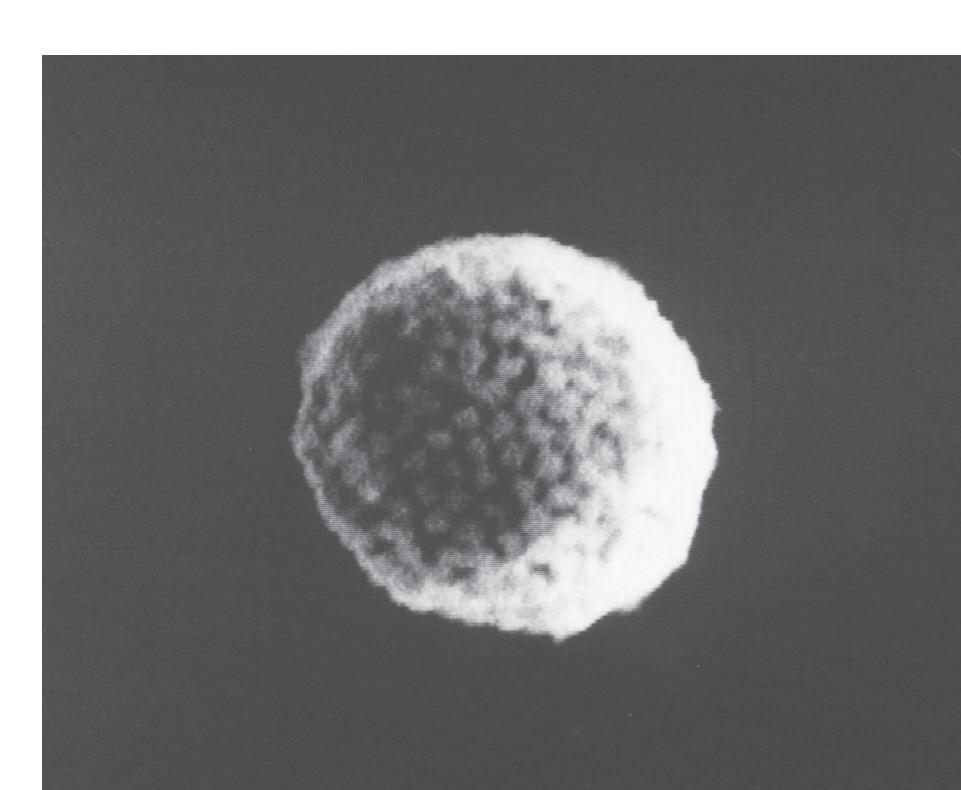


日本は二本だった！

○ 過去の気候・環境を調べる



氷河期の始まりを示す帯磁率  
太平洋海底堆積物の記録  
[Maher & Thompson, 1999]



大阪湾東部海底堆積物に普遍的に見つかる  
[Takatsugi & Hyodo, 1995]